

【集計結果】

分類	区分	英語				
		平均正答率(%)			全国比	評価
		二中	県	全国		
全体		51.0	54.0	56.0	91	D
学習指導要領の領域	聞くこと	65.4	65.9	67.9	96	D
	話すこと (参考値)	22.0	/	30.8	71	D
	読むこと	52.1	54.9	55.6	94	D
	書くこと	37.2	43.0	45.8	81	D
評価の観点	コミュニケーション活動への関心・意欲・態度	/	/	/	/	/
	外国語表現の能力	0.9	1.5	1.8	50	D
	外国語理解の能力	41.4	42.8	44.7	93	D
	言語や文化についての知識・理解	58.5	62.6	64.7	90	D
問題形式	選択式	68.5	70.1	71.4	96	D
	短答式	33.8	41.7	45.2	75	D
	記述式	2.8	5.3	6.8	41	D

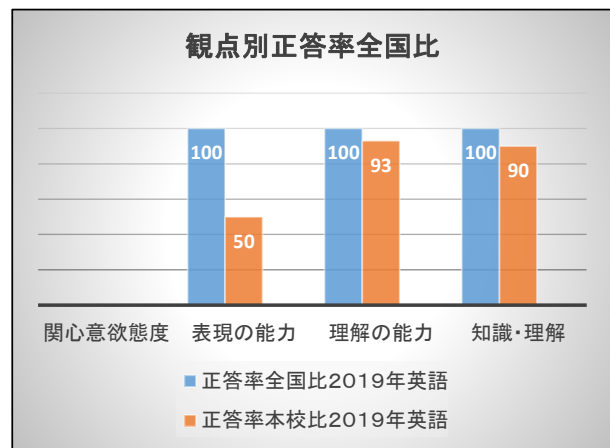
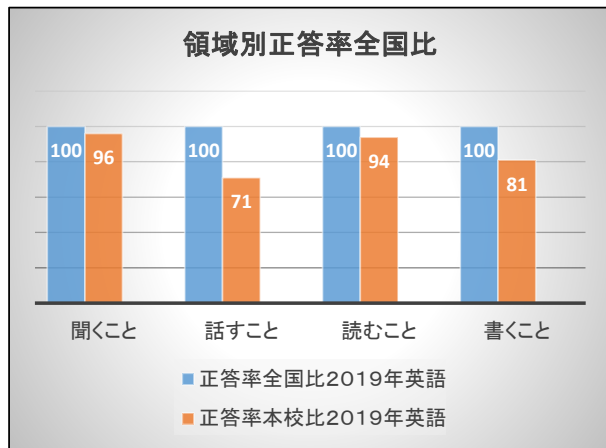
【評価について】

A：全国平均との差が+3%を超える

B：全国平均と同等から+3%まで

C：全国平均との差が-3%まで

D：全国平均との差が-3%を下回る



【分析】

全ての項目において、正答率は全国比よりかなり低い結果になっています。

その中でも、次の問題について正答率が低い結果となっています。

- ①「絵を見て状況や状態などを答える」問題
- ②「与えられた情報に基づいて説明する英文を書く」問題
- ③「記述式」の問題

また、「話す問題」では5問中1～2問正解の生徒が70%以上を占めていました。

【今後の取り組み】

- ①英作文は書けても、自分の考えや思いを英文で表現することを苦手としている生徒が多いため、英訳問題をするのではなく、自分の考えや感想が書けるような英作文に取り組む機会を増やしていきます。
- ②ALTとの授業を行っていても、いざ会話となると英語で話すことを敬遠してしまう生徒が見られます。積極的に英語を用いて話す場面を設けて、英語で話せる力を身につけさせていきます。
- ③日常生活で英語や英会話があふれている昨今、英語に興味がない生徒も未だに多く見られます。英語に興味関心を持ち、意欲的に学習できるようなことを授業で取り組んでいきます。